

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 誰一人取り残さない「包括的な支援体制」づくりを (20分)</p> <p>従来の日本の福祉政策は、生活困窮、子育て支援、障がい者、高齢者対策など専門的支援体制で取組まれていました。しかし、生きる上での困難・生きづらさはあるが既存の制度の対象となりにくいケースや、いわゆる「8050」問題やダブルケアなど個人・世帯が複数の生活上の課題を抱えており、専門的支援に加え、様々な課題全体を捉えて関わっていくことが必要になっています。</p> <p>全ての人びとのための仕組みとして、これまで培ってきた専門性や政策資源を活かした上で、実践において創意工夫が生まれやすい環境を整えた支援が必要です。</p> <p>国では、令和2年、社会福祉法の改正により、同法第106条の3で包括的な支援体制の整備が謳われ、第106条の4で重層的支援体制整備事業が創設されました。鶴ヶ島市においても令和4年に第3次鶴ヶ島市地域福祉計画が策定されています。</p> <p>(1) 包括的な支援体制の整備と重層的支援体制整備について ア それぞれの意味について イ つる♡ほっとプランでの使い分けについて</p> <p>(2) 相談支援、参加支援、地域づくり支援、アウトリーチ等継続支援、多機関協働の取組について</p> <p>(3) 人材育成の取組について</p> <p>(4) 重層的支援体制整備事業実施計画の策定について</p> <p>(5) 全庁的な取組について、支援会議について</p>	<p>市長</p>
<p>2 終活相談、ご遺族支援、高齢おひとりさま支援を (20分)</p> <p>令和元年6月議会において、「自治体での終活支援、終活登録」について一般質問しました。その際、横須賀市や大和市の事例を参考にエンディングノートの作成支援や生前での葬祭事業者との契約支援や司法書士等の法律の専門家につなぐ事など提案しました。</p> <p>今回、改めて鶴ヶ島市議会公明党として、おひとりさま支援条例を策定した神奈川県大和市に視察に伺いました。</p> <p>エンディングノートの作成にコンシェルジュによるアドバイスをして、希望があれば市で預かり、いざという時に、エンディングノートに書かれている方に連絡をするサービスを行っておりました。令和元年に私が提案した横</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>須賀市の取組は、海に囲まれた土地柄から年間50件を超す自殺者がおり、いわゆる無縁仏対策の色合いが強いとの当時の鶴ヶ島市の答弁でしたが、大和市の取組は、今を生きる高齢者が100歳まで安心して、元気で暮らす為の取組の一環でした。</p> <p>(1) 鶴ヶ島市の高齢者のお一人暮らしの世帯の状況は、また、その予備軍と言える高齢者お二人暮らし世帯の状況について</p> <p>(2) 生前に安心して葬儀、納骨の段取りができるように葬祭事業者の情報の提供、遺品の整理や相続などの相談で法律の専門家につなぐことについて</p> <p>(3) 大和市では、終活登録カードを作成し、カード自体には個人情報記載されておらず、いざという時に市役所に連絡すれば対応するようになっているものです。終活登録カードの作成について</p> <p>(4) ご遺族の何をすべきかわからない等の不安に対する相談、申請届け出の書類の作成補助、各種窓口への案内などをするご遺族の支援コーナーを設ける事について</p>	<p>市長</p>
<p>3 带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成について (10分)</p> <p>昨年の6月議会で公明党の小林ひとみ議員が带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成について、質問をしました。</p> <p>子どもの頃にかかった水ぼうそうのウイルスが体の中に居続け、ストレスや免疫が低下した際に発症し、80歳になるまでに3人に1人が罹患すると言われています。発症時に強い痛みが伴い、その後も神経痛など後遺症が懸念されるもので、50歳から受けられるワクチンは、発病に対しては90%、带状疱疹後の神経痛については89%の効果があるというふうに報告されているものです。</p> <p>市は、定期接種の対象となっていないことを理由に助成の考えはなく、国の定期接種化への動向を注視していくとの答弁をしております。</p> <p>しかし、本年4月から同じ医師会を有する坂戸市が、带状疱疹ワクチンの接種費用の一部助成を開始しております。毛呂山町、越生町、川越市、川島町、所沢市、入間市、狭山市でも実施をしており、鶴ヶ島市としても実施するべきではないでしょうか。</p> <p>(1) 定期接種化に向けた国などの動向について</p> <p>(2) 埼玉県内の実施状況について、特に西部11市の実施状況について</p>	

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(3) 鶴ヶ島市での実施を</p> <p>4 若葉駅西口、市の玄関口をキレイに (10分)</p> <p>2004年(平成16年)3月14日に供用を開始した若葉駅西口について、エレベーターの文字が消えてしまいシールで対応している、ゆうちょ銀行のATMの裏側が埃だらけ、駅舎内側の壁にも埃が目立つ、せっかくの市の玄関口なのに残念だという声がありました。</p> <p>重厚な駅舎、駅前広場を電柱の地中化を行い、装飾を施した街灯を整備し、インターロッキングブロック舗装にするなど、念願だった西口開設への思いまで風化してしまっているかのようです。</p> <p>(1) 若葉駅西口駅舎、駅前広場の清掃などの管理について</p> <p>(2) 市の玄関口である若葉駅西口のリニューアルを</p>	<p>市長</p>